

第1次報告書概要

(原子力損害賠償制度の在り方に関する検討会 平成20年12月15日決定)

平成20年12月
原子力計画課

1. 原子力損害賠償制度を巡る情勢

(1) JCO臨界事故に係る損害賠償

- 被害申出総数は8千件超（最終的な賠償対象は約7千件）
- 賠償総額は約150億円（当時の法令に基づく賠償措置額は10億円。その後の政令改正により、5%以上の濃縮ウランの加工等は120億円に引上げ。）
- 原子力損害賠償紛争審査会への和解の仲介の申立件数は2件
- 当事者の賠償交渉を円滑に進めるため、国・地方公共団体が支援を実施

JCO臨界事故

平成11年9月、JCO東海事業所で我が国初の臨界事故が発生し、臨界状態が約20時間が継続。3名の従業員が重篤な被ばくを受け、そのうち2名の方が亡くなったほか、消防署員や臨界停止作業に従事した従業員、周辺住民等が被ばくした。

(2) 国際動向

- 賠償措置額の動向として、従来の国際条約（改正ウィーン条約・CSC）での水準は3億SDR（528億円）であったが、平成16年の改正パリ条約では7億ユーロ（1118億円）に引上げ
- アジア周辺地域の原子力導入の活発化、世界的な原子力産業の連携再編、本年5月の米国による「原子力損害の補完的補償に関する条約（CSC）」の批准等の動き

2. 原子力損害賠償制度の見直し（●は法律改正事項、◆は政令改正事項）

(1) 補償契約の締結・政府の援助に関する規定の適用期限の延長

- 民間保険のてん補範囲に変動がないこと等から、補償契約の締結及び政府の援助の適用期限を現行の平成21年12月31日から10年間延長する。

補償契約：地震等による原子力損害の賠償による損失を政府が事業者に補償
政府の援助：事業者の賠償額が賠償措置額を超える場合、政府が必要な援助

(2) 賠償措置額の引上げ

- 事業者が原子力損害の賠償に充てられるよう確保すべき額（賠償措置額）について、欧州諸国を中心とする国際水準や我が国の民間の責任保険の引受能力の向上を踏まえ、現行の600億円から1200億円に引き上げる。
- ◆加工・使用等に係る賠償措置額の特例額について、上記の引上げの割合に合わせて、現行の120億円又は20億円からそれぞれ240億円又は40億円に引き上げる。
- ◆補償契約に係る補償料率について、最新の知見、保険市場の評価、契約実績等を踏まえて引き下げる。

(3) 事業行為終了後の損害賠償措置の合理化

- ◆事業行為終了後にサイト内で行われる核燃料物質等の運搬等の付随行為につい

て、付随行為の相対的リスクに照らして合理的な額の賠償措置額の特例額を創設する。

(4) 紛争審査会による賠償の参考となる指針の策定

- 膨大な数の請求・現場の混乱・当事者の心理・事案間の一定の類似性等の原子力損害の賠償の特殊性を踏まえ、紛争審査会の所掌事務として、賠償に関する紛争の自主的な解決を促進するため、賠償の参考となる指針を策定することを新たに追加する（【参考1】）。

→指針には、原子力損害の範囲、損害額の算定の方法等に関する基本的な考え方をマクロな観点から整理する。

(5) 損害保険会社への補償契約事務の一部委託

- 万が一政府の補償契約の対象となる事案が発生した場合に備え、損害保険会社の知見・ノウハウを活用できるよう事務の一部委託を可能とする（【参考2】）。

(6) 罰則の厳格化

- 原子炉等規制法における罰則の厳格化等を踏まえ、罰則を引き上げる。

3. ワーキング・グループを設置して引き続き検討を行う事項

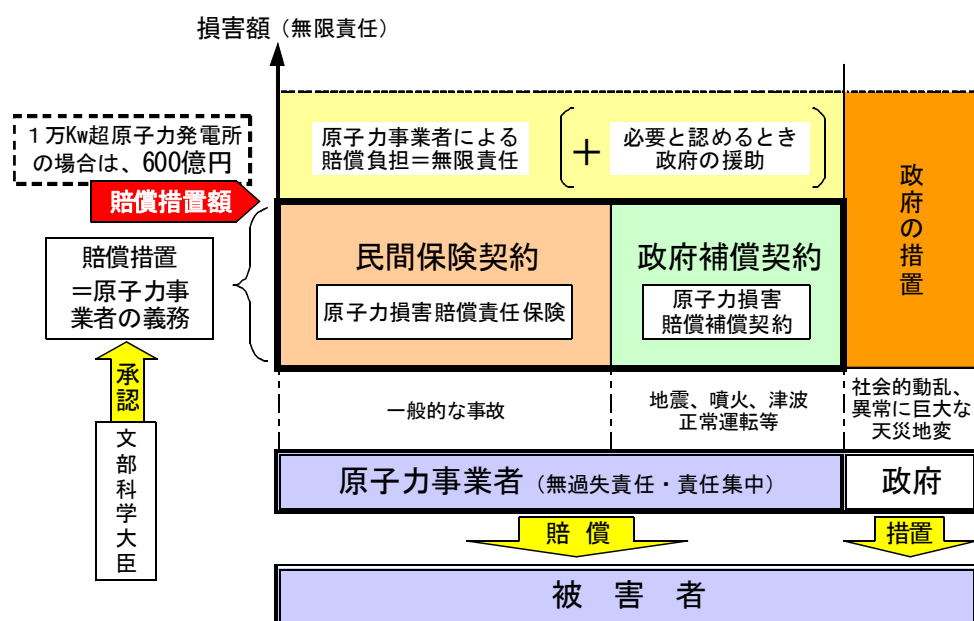
(1) 運用ガイドラインの作成

- JCO臨界事故の教訓を集約し、国・地方公共団体等も含めた関係者に期待される行動や賠償の一般的な手続、必要書類等をマニュアル化する。

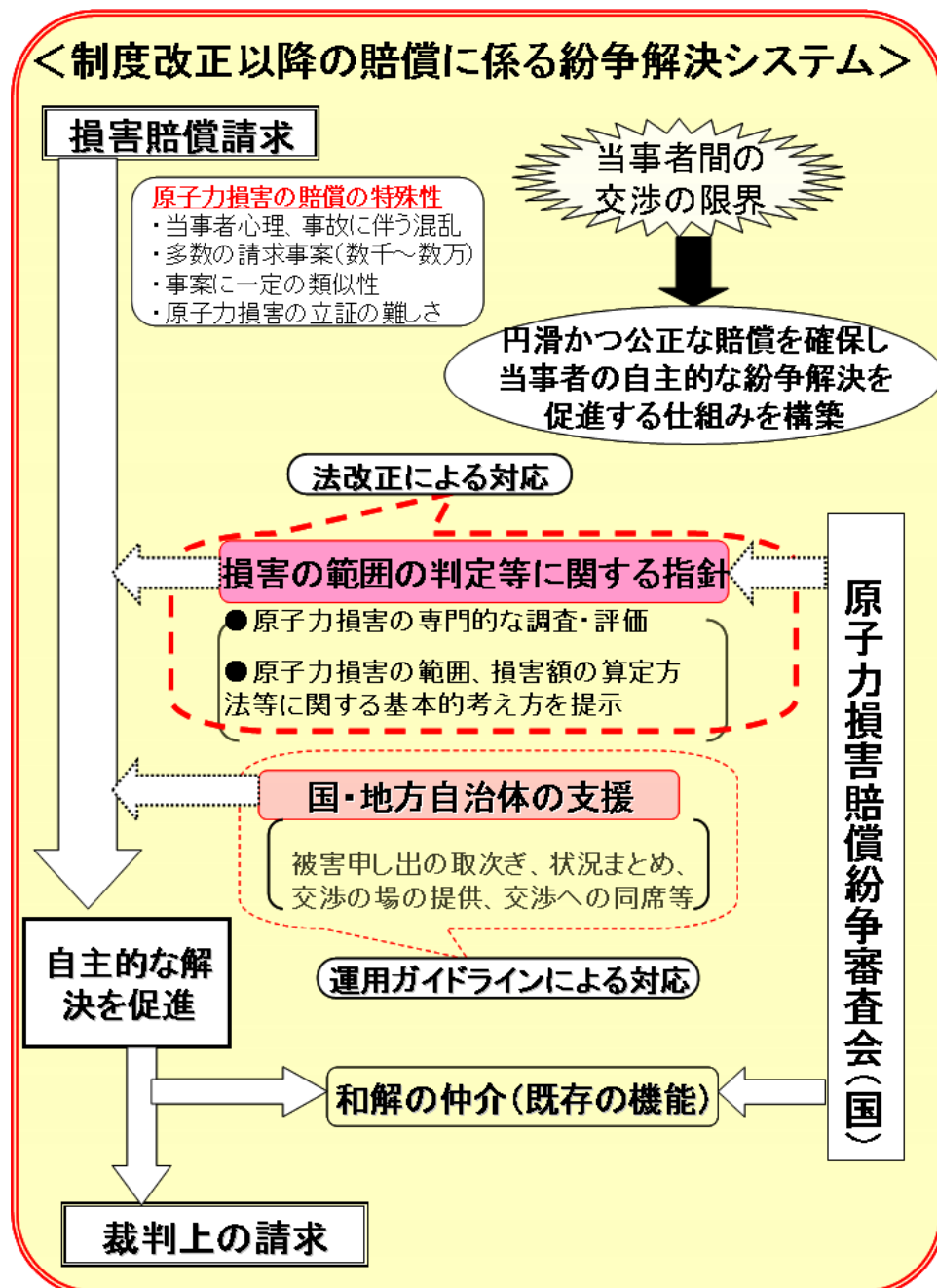
(2) 国際条約への対応

- 将来の本格的検討に備え、CSCを念頭に、政策面（条約の有用性）・法制面（国内制度との整合性）の論点を整理する。

【図】原子力損害賠償制度の概要



【参考１】紛争解決支援システムの全体イメージ



【参考２】損害保険会社への補償契約事務の一部委託のイメージ

文部科学省で行う業務

委託することが想定される業務

補償金支払請求のスキームの決定	賠償責任の事前承認申請の受理	登 被 録 害 ・ 者 経 別 過 の
事故の報告の受付	申請書類の確認・補正の指示	
...	事前承認に係る補償額の算定案の作成	
補償額の事前承認	事業者に対する事前承認の内容の通知	
...	補償金支払請求の受理	

補償額の最終決定	請求書類の確認・補正の指示	管 事
補償金の支払い		
過怠金の徴収	支払に係る補償額の算定案の作成	理 案
異議申立てへの対応		